

埼玉県 UJ 年代 団体集約の提案

佐藤理絵

1. 現状

2022年度 UJ 選手登録団体・・・3 団体（選手：各団体2名～5名程度）
各団体、UJ 選手の登録数が年々減少している。また、新規団体の参入もない状況である。

2. 問題点

登録団体ごとに必要な役員を確保することに各団体が苦慮している。
UJ 年代では、役員＝セカンドを保護者の方に頼っている状況であるが、登録費用の問題やセカンド資格取得に関して難色を示されることも少なくない。

3. 提案

仮称) 埼玉県ボクシングクラブを新規団体として設立し、埼玉県内の UJ 年代の選手登録を一つの団体へ集約する。

4. 効果

団体登録や役員確保が出来ずに登録を断念または逡巡している団体の選手登録が容易になり、UJ 年代の選手増加が見込まれる。

5. 課題

新団体の代表者選出、および役員の確保（セカンド要員として数名が必要）
役員については、選手の保護者だけではなく、継続して活動していただける方の確保

6. 開始時期

2023 年度登録より

7. まとめ

何点かの課題はあるが、2023 年度登録開始までの半年間で準備を整えたい。
埼玉県として UJ 年代のサポートを行い、この世代から埼玉県アマチュアボクシングを盛り上げていけたらと願います。

以 上